

広島市植物公園 見どころ案内

❁ ウメ ‘冬至’ (バラ科)

園内のウメの中で最も早く開花するのがこの木です。いよいよ白花が咲き始めました！暖かい年には12月中旬に咲き始めるところから冬至の名前がつけられました。例年3月末まで花が見られます。

更に谷の奥に進むと木道の向こうにミツマタがひっそりと花を咲かせています。ぜひご一見ください！

❁ ニホンスイセン (ヒガンバナ科)

早春を告げる花といえばこの花！芝生広場のほか、花の進化園でも咲き始めました。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)

落ちない受験のお守りの木です。紅葉のあと、春の芽出しまで葉が落ちずに冬を越します。

ソシンロウバイ❁

(ロウバイ科)

いよいよ咲き始めました！ろう細工のような黄色の花は周りに甘い芳香を放ちます。隣に植栽してあるシナマンサクも合わせるように咲き始めました。

クリスマスローズ❁

(キンポウゲ科)

様々な品種が出回っているクリスマスローズの中でも、まさにクリスマスに咲くニゲル種の交配種。通常のニゲルよりも花数が多く、日陰でも成育する本品種の特徴が発揮され明るく彩っています。

ヒイラギナンテン❁

‘チャリティー’ (メギ科)

よく日陰に植えられる通常のヒイラギナンテンの花は下垂して目立ちませんが、本品種は花を何本も立ち上げ、枯れ野の中でよく目立ちます。花は完全には開きません。

サボテン温室

セイロンベンケイソウなどのカラコエの仲間やアロエの仲間が開花しています。またエケベリアやアロエ、カラコエは冬季に寒さから身を守るべくアントシアンを作って赤く紅葉しています。

開催中

カラコエと冬の鉢花展

冬の室内を飾るのに持ってこいの鉢花を展示。特に展示場奥にはユニークで愛らしいカラコエの仲間を特集して紹介しています。

❁ 大温室の

つる性花木

大温室上段奥の花木植栽区はラッパバナやクレオドンドルム、ブーゲンビリアなどのつる性花木が高くよじ登って花盛りを迎えております。大温室を御覧になる際は下だけではなく、ぜひ視線を上方に見上げて御覧ください。

❁ ピンクボール

(ドンベヤ)

(アオギリ科)

アフリカ東部・マダガスカル原産。枝にいくつもぶら下げる、くす玉のような大きな花房は名前に納得の花姿。隣に白花を咲かせる仲間も植栽しています。

